JF 日本語教育スタンダード準拠 ロールプレイテスト 音声サンプル解説書

【やりとりと判定の実例:B2〇】

<ロールカード>

T:テスター、S:受験者

^{はっわれい} 発話例	はんてい こんきょ 判定の根拠
発話例 T: ねえねえ、最近新しい教科書が出たけれど、あれどう思います? S: 新しい教科書はいいと思います。 T: どうして。 S: んー、何だろう。新しい教え方も入ってるかもしらないし。何だろう、今、今の使えそうな例とか、文化も入ってるかもしらないからです。① T: なるほど。まあ確かに、今の新しい文化の情報が入ってたりしていいかもしれないけど、私たち教える先生たちは、今の教科書に慣れているし、いろいろな教材も準備できているから、変えるのは大変じゃないかな。 S: んー、今はちょっと大変になると思います。② T: んー、どんなところが良くなると思います。② T: んー、どんなところが良くなる。 S:んー、そうですね。あの、今を変えたら、その、新しい教え方を勉強して、多分15年同じの使ってるやつは、もうオンラインとかであんまり使ってないし、その、オーディオとかも入ってないと思って、新しい教科書の方がいいかもしらないです。③ T: そっかー。でもプリントとかも全部作り置さないといけないんだけどなあ。大変そうだなあ。 B S: まあ、みんなでがんばったら、作れると思います。④ T: そうかもしれませんね。じゃあ、ほかの先生とも指談してみましょ	(1)教科書変更を提案し、理由を述べる (2)を論 Aへの新たな論点を示す (3)自分が示した意見を何とか補強 (4)を論 Bに対し、短く意見を言う
う。 S:はい。	

JF 日本語教育スタンダード準拠 ロールプレイテスト 音声サンプル解説書

この例では、新しい教科書を使うという提案をし、その理由を述べています(①)。テスターが、音い教科書はみんな憧れていると 党論(A)すると、いくつかの理由を述べて、新しい教科書を使うという意見をなんとか補強しています(②③)。それに対してテスターが、Bで続けて党論すると、党党、管見を言うに管まります(④)。このように、意見に党論はでき、首分から論点を示すこともできていますが、旅道を立てて意見を補強したり、説得力のある主張を維持したりはできていないので、この受験者は〇と判定します。